

令和6年度 空知森林室立木販売重点目標

空知 森林室

1 地域材を活用した地域の取組みの促進

林業事業体による計画的な雇用の確保、設備投資を図るため、地域における木材需要や新たな取組みを的確に把握した上で、次の取組みを促進する。

(1) 地域の林業事業体と締結した協定に基づき、道有林内の一定の区域において複数年に渡り、造林や保育、伐採などの森林整備を実施する。

(2) カラマツ材の高付加価値化に取り組む素材生産業者や木材加工業者と締結した協定に基づき、地域の原木安定供給に取り組むことで、道産木材の販路拡大及び地域の振興に繋げる。

2 木質バイオマス燃料材の安定供給

木質バイオマス用燃料向けの需要があることから、高齢級且つ低質材を主体とした人工林主伐箇所からの材の安定供給、及び林地未利用材の安定供給に取り組む。

(1) 木質バイオマス用燃料材の安定供給を図るため、ドロノキ人工林主伐箇所を対象に協定販売を実施する。

(2) 林地未利用材については、広く一般道民に販売可能となるよう、積極的にオープンカウンター方式で販売を行う。

3 販売目標量

(販売目標量について、上記取組に基づき記載する)

(記載例)

(1) 総販売量

47,900 m³

○一般競争入札

22,500 m³

○うち「CoC」限定入札 (森林認証取得地域の場合)

m³

○協定販売

3,400 m³ (うち新規 m³)

うち地域材①		うちバイオマス②	
	うち新規		うち新規
2,000m ³	m ³	1,400m ³	m ³

○長期安定供給販売

3,600 m³ (うち新規 3,600 m³)

○伐採・造林複合協定型森林整備事業

4,300 m³ (うち新規 m³)

○その他販売

14,100 m³

(2) オープンカウンター販売

1 件

(注) 販売量は立木材積である。「うち新規」とは、当該年度に新たな協定を締結し、立木を販売するものである。